

プレスリリース

物物

Butsu Butsu

2012年7月15(日) - 9月23日(日)

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館

展覧会に関するお問い合わせ及び資料のご請求先：

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館  
公益財団法人ミモカ美術振興財団  
担当＝古野華奈子

〒763-0022 香川県丸亀市浜町 80-1

tel:0877-24-7755

fax:0877-24-7766

<http://www.mimoca.org/ja/press/>

## 【展覧会概要】

展覧会名： 物物

Butsu Butsu

会場： 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 展示室 A

会期： 2012年7月15日(日)－9月23日(日) (71日間) 会期中無休

開館時間： 10時－18時 (最終入館 17時30分)

主催： 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

協力： 本尾久子、菊地敦己

観覧料金： 一般 950円 [760円] 大学生 650円 [520円]

\* 同時開催企画展「ホンマタカシ ニュー・ドキュメンタリー」・常設展観覧料を含む

\* [ ] 内は前売り及び20名以上の団体料金

高校生以下または18歳未満・丸亀市内在住の65歳以上・各種障害者手帳お持ちの方は無料

前売券販売場所：

[丸亀] あーとらんどギャラリー (0877-24-0927) オークラホテル丸亀 (23-2222) おみやげSHOP ミュー (22-2400) きままや (22-9361)

※2012年8月25日(土)、26日(日)はゲートプラザにて「まるがめ婆娑羅まつり」開催のため観覧無料 (ただし展示室内に音が響く場合があります)

## 【展覧会趣旨】

著書『画家のおもちゃ箱』(文化出版局 1984)でもよく知られるとおり、猪熊弦一郎(1902-93)にはコレクターとしての一面もありました。と言ってもマニアックな収集ではなく、道で拾ったゴミも高価なアンティークも一様に、猪熊にとって美しい物や愛おしい物が、暮らしのなかで自然と集まってできたコレクションでした。現在、これらは当美術館に収蔵されています。そのなかから、スタイリストの岡尾美代子が気になる物を選び出し、それを写真家のホンマタカシが撮影しました。本展では、二人で「ブツブツ」言いながら選んだり撮ったりした物とその写真をご紹介します。物の展示は岡尾が行います。新たな視点で紹介された「物物」は、個々の魅力を發揮して、その上で、かつてそれらと共にあった画家の存在をあらためて思い起こさせるでしょう。

## 【トピックス】

### 1. 集：猪熊弦一郎

画家、猪熊弦一郎（1902-93）は、自分のテイストに触れる物をいつも身近に置いて、暮らしや仕事の糧としていました。いつのまにか大量に集まったこれらの物は、現在「猪熊コレクション」として丸亀市猪熊弦一郎現代美術館（MIMOCA）に収蔵されています。なかには、猪熊が戦前暮らしのパリや戦後に拠点としたニューヨークで出会った物も多く、特にアーリーアメリカンのコレクションには、専門の博物館に陳列されてもおかしくないような貴重な物も含まれています。けれども、高価なアンティークも生活雑貨も、道で拾った小さな欠片でさえも、猪熊にとってはすべてが等しく親しい友のような存在でした。

猪熊の著書『画家のおもちゃ箱』（写真：大倉舜二、発行：文化出版局 1984）には、これらの物への思いやエピソードが綴られています。猪熊の自邸で撮られた写真が見開きで配され、物との親密な暮らしぶりが一層伝わってきます。一方で、猪熊のセンスに貫かれたこの本には、彼の画家としての本質もあらわれています。

### 2. 選：岡尾美代子

当美術館に残された膨大な数の「猪熊コレクション」の中から、スタイリストの岡尾美代子が自身のテイストに触れる物を104組選びました。

### 3. 撮：ホンマタカシ

岡尾が選んだ物を、ホンマタカシがひとつずつ、すべて写真に収めました。岡尾がテーブルの上にセットし、それをホンマが撮影、二人でブツブツいいながら、104個をおよそ1日半で撮影しました。

### 4. 展示

ホンマが撮った写真の中から12点が大きくプリントされて、その物とあわせて展示されます。もちろん、岡尾が選んだ残りの物もほとんどが出品され、展示も岡尾が担当します。猪熊の家具（テーブルや椅子、棚など）を使った展示を予定しています。

### 5. 書籍『物物』

実はこの展覧会はもともと書籍『物物』の企画からはじまりました。『画家のおもちゃ箱』という本があることを前提として、残された物たちをあらためて紹介する新しい本を作ろう。本では、物ひとつに見開きで、写真1点とそれについての二人（ホンマと岡尾）の会話が掲載されます。デザインと編集はデザイナーの菊地敦己が担当し、小説家の堀江敏幸が文章を寄せました。展覧会にあわせて出版するべく（予定）、現在、鋭意製作中です。

## 【略歴】

### 猪熊弦一郎 / Genichiro Inokuma

- 1902年 香川県高松市生まれ。
- 1922年 東京美術学校（現東京藝術大学）に入学。
- 1936年 新制作派協会（現新制作協会）を結成。
- 1938年 渡仏、アンリ・マティスに師事。藤田嗣治と知り合い親しくなる。
- 1940年 パリの戦禍が激しくなり、やむなく帰国する。
- 1955年 渡米、ニューヨークを中心に活躍。
- 1975年 体調をくずし、ニューヨークのアトリエを閉じる。以後、ハワイと東京を半年毎に行き来し制作する。
- 1978年 雑誌『ミセス』（文化出版局）にて、自身のコレクションについて綴った「現代玉手箱」を一年間連載する。
- 1984年 上記の連載をまとめ加筆した書籍『画家のおもちゃ箱』（写真：大倉舜二、文化出版局）を上梓。
- 1991年 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館開館。
- 1993年 逝去。

### ホンマタカシ / Takashi Homma

- 1962年 東京生まれ。
  - 1991年 ロンドンに移住。
  - 1992年 12月に帰国。東京を本拠地に活動開始。
  - 1995年 最初の写真集となる『Babyland』（リトル・モア）を刊行、同書収録作品による初の個展開催。
  - 1999年 写真集『東京郊外』で、第24回木村伊兵衛写真賞を受賞。
  - 2011年 金沢21世紀美術館、東京オペラシティアートギャラリーにて国内の美術館での初個展「ホンマタカシ ニュー・ドキュメンタリー」を開催。
  - 2012年 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館にて上記展覧会を開催（7月15日－9月23日）。
- 現在、東京在住。

### 岡尾美代子 / Miyoko Okao

- 1963年 高知県生まれ。
- 文化服装学院卒業。主な著書に『Land Land Land 旅するA to Z』（ギャップ出版 2002）、『Room talk』（筑摩書房 2004）、『マニユファクチャーズ』（アスペクト 2005）、『おやすみモーフィ 岡尾美代子の毛布 ABC』（マガジンハウス 2008）等。

## **[書籍『物物』のお知らせ]**

『物物』

集 猪熊弦一郎

撮 ホンマタカシ

選 岡尾美代子

エッセイ 堀江敏幸

編集 菊地敦己

監修 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

発行 BOOK PEAK（菊地敦己事務所） 2012年7月発行予定

価格 未定

## **[展覧会等のお知らせ]**

### **■同時開催展**

企画展 ホンマタカシ ニュー・ドキュメンタリー（展示室C）

常設展 猪熊弦一郎展（展示室B）

会期：2012年7月15日（日）－9月23日（日） 会期中無休

### **■次回開催企画展**

石内都 絹の夢

会期：2012年10月7日（日）－2013年1月6日（日） 休館：12月25－31日